

令和4年（2022年）第2回町田市議会定例会
質 疑 通 告 書

まちだ市民クラブ（70分）

発言 順位	1	議席 番号	15	議員名	東 友 美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
<p>施政方針 (P. 3)</p> <p>(P. 3～5)</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>①現在までの市における新型コロナウイルス感染症対策の体制及び同ワクチン接種に対する取り組みについて、どの様に分析しているか。</p> <p>②これまでの分析を踏まえ、今後どの様な方針での施策を進めていくのか。</p> <p>(2) 財政状況について</p> <p>①新型コロナウイルス感染症及びウクライナ危機等による社会情勢の影響により、物価上昇等が懸念されている。この点において市としては市民生活にどの様な経済的影響を与えると想定しているか。また、市の事業においても今後物価上昇や資材の高騰が予想されている中で、どの様な対策を考えているか。</p> <p>②生産年齢人口や年少人口の減少が全国的に課題となっている中で、町田市は人口が43万人を超えた。これは若年層の転出改善や年少人口の転入超過数が高いレベルで維持できている事が要因としてあげられる。こうした状況が税収等の財政面でどの様に反映されると考えているのか。また、今後この状況を維持するため、どの様な政策を考えているか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	1 5	議員名	東 友 美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 8～10)	<p>(3) 「ここでの成長がカタチになるまち」について</p> <p>① 「児童相談所の誘致」について、現在の東京都との折衝状況は。特に、国や東京都の動きの中で誘致場所等の検討を早急に行う必要があると考えるが、市の取り組みは。また、児童虐待等から子どもの命を守るための町田市の体制強化が重要であると認識しているが、子ども家庭支援センター等の体制強化等についてはどのような考えか。</p> <p>② 「(仮称) 子どもにやさしいまち条例」の制定について、その目的とスケジュールは。条例を制定することで、具体的に子どもの生活環境がどのように変化していくとイメージしているのか。また、「(仮称) 子どもにやさしいまち条例」の制定と同時に「子どもコミッショナー／オンブズパーソン」を設置すべきと考えるがどうか。</p> <p>③ 「町田市新たな学校づくり推進計画」について、統廃合により廃校となる学校のある場所の防災機能の継続が最重要課題であると認識しており、防災機能維持のためにも体育館等の施設を残す事も考えられる。その様な中、実際にはどのように地域の防災機能を担保していくのか。</p> <p>④ 「まちだの中学校給食センター整備」について、「多様な民間企業の高い専門性と、柔軟な発想や事業展開力をつないで」とあるが、具体的にどのような取り組みを考えているのか。また、P F I手法等の官民連携について、どのような事業者を想定しているのか。特に地元事業者との連携についての考え方は。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	15	議員名	東 友美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 11、12)	<p>(4)「わたしの“ココチよさ”がかなうまち」について</p> <p>①「住環境として都市とみどりのバランスがちょうどよく」とあるが、町田市は住宅都市として発展しつつ、貴重な緑を残してきた。その環境を将来に渡り受け継いでいくために、どのような姿勢でまちづくりを進めていくのか。特に緑地保全についての考え方は。</p> <p>②鶴川駅や相原駅の駅周辺整備事業について、駅前広場や道路の整備事業が進められていく中で、それらを契機に駅前の魅力や賑わいの更なる向上が期待される。商業施設や商店街等、駅前の街並み形成についての考えは。</p>				
(P. 13～16)	<p>(5)「誰もがホッとできるまち」について</p> <p>①「地域福祉コーディネーター」について、民生委員が欠員している中、自ら声をあげることでできない方をどの様に見つけ出すのか。また、地域福祉コーディネーターはどのような人材が担うのか。</p> <p>②「パートナーシップ制度」について、内容やスケジュール、市民生活への影響はどの様に考えているか。また、「(仮称)一人ひとりがその人らしく生きるまちだプラン(第5次町田市男女平等推進計画)」への位置づけはどうなるのか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	1 5	議員名	東 友 美 (代表質疑)
議案番号等		要 旨			
施政方針 (P. 13～16)	<p>③「芹ヶ谷公園“芸術の杜”」について、2022年第1回定例会での附帯決議の通り、現状ではまだ地域住民や関係諸団体との協議が必要であると認識している。今後の協議を進める必要性についてはどの様に考えているのか。現段階で実施設計は再開されているのか。また、実施設計を踏まえた整備事業にかかる予算規模についてはいつごろ示されるのか。さらに、公園整備に関しての基本的な考えはどうか。</p> <p>④ゼロカーボンシティを実現するために、短期的視点では具体的にどの様な取り組みを行っていくのか。また「第3次町田市環境マスタープラン」を踏まえ、中・長期的にはどの様な施策を推進していくのか。</p>				
(P. 17)	<p>(6) 基本方針1「共創で新たな価値を創造する」について</p> <p>①経営基本方針の基本方針1において、「共創」の重要性が強調されている。この「共創」について、地域住民同士だけでなく、「地域住民と市との共創」も重要であると考えますが、現状をどの様に捉えているか。また、市の事業の企画・立案時点での地元住民との「対話」と「提案」が必要不可欠であると考えますがどうか。</p>				
(P. 18、19)	<p>(7) 基本方針2「対話を通して市役所能力を高める」について</p> <p>①「中核市ベンチマーキング」へ新たに着手する記載があるが、対象を中核市とした理由は。町田市が中核市となる意向があるのか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	15	議員名	東 友美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 19、20)	<p>(8) 基本方針3「次世代につなぐ財政基盤を確立する」について</p> <p>①「企業版ふるさと納税」について、拡充するに至った経緯は。特に現状、寄附件数が少ないという認識であるが、今後の寄附件数、金額の見込みは。また、事業拡充にあたり、積極的なPRが必要と考えるが、市の考えは。</p> <p>②「公共施設の再編」について、教育センターの複合化や境川団地地区の再整備等が予定されている。この件について、地域住民、民間事業者、J K K、そして市が連携して取り組みを進めるべきと考えるが、市の考え方はどうか。</p>				

公明党（55分）

発言 順位	2	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.3)	<p>(1) 物価の上昇が市民生活に大きな不安を与えるものであり、状況を注視している、とのことだが、先般、国は、物価上昇を背景に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充することとした。町田市は、この交付金をどのように予算に反映し、物価上昇の影響を受ける生活者・事業者支援に活用していく考えか。</p>				
(P.8)	<p>(2) 児童相談所を市内に設置することについて東京都と協議を進めていくとのことだが、児童相談所の市内設置によって、どのような効果が発揮されると考えているか。また、子ども家庭支援センターと児童相談所がどのように連携し、機能を果たしていくと考えているか。</p>				
(P.9)	<p>(3) 「(仮称) 子どもにやさしいまち条例」の2023年度制定を目指しているとのことだが、条例の制定の目的、意義をどのように捉えているか。また、条例制定に向け、どのように検討を進めていく考えか。</p>				
(P.10)	<p>(4) “まちだの新たな学校づくり”は未来の子どもたちの教育環境づくりを主眼としているとのことだが、通学の安全確保の視点では、どのように検討を進め、対策を講じていく考えか。また、民間の力を教育活動の支援に生かすとのことだが、目的や具体的な活用場面をどのように考えているか。</p>				

発言 順位	2	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.10)	(5) 町田市の中学校給食センターについては「食を通した地域みんなの健康づくり拠点」を目指していくとのことだが、給食センターが担う防災機能を含めた多機能な活用について、具体的にどのようなことを想定しているか。また、事業者選定の考え方や市内事業者が事業に参入する可能性をどのように考えているか。				
(P.13)	(6) 地域の中に地域福祉コーディネーターを配置していくとのことだが、地域福祉コーディネーターの役割をどのように考えているか。また、地域福祉コーディネーターにはどのような人材を想定し、確保していく考えか。				
(P.14)	(7) パートナーシップ制度導入に向けた検討を進めていくとのことだが、制度導入までのスケジュール、進め方をどのように想定しているか。				
(P.14)	(8) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”の園内に、公園の案内や喫茶、工房といった機能を持つ施設を整備していくとのことだが、新たに整備される施設において、かねてから主張してきた「子どもと体験」という視点をどのように反映していく考えか。				
(P.18)	(9) 行政のデジタルトランスフォーメーションについて、行政サービスを「人手のかかるサービスデザイン」から「デジタルベースのサービスデザイン」へ変革していくとのことだが、このことによって市民の利便性をどのように向上させていく考えか。また、市役所内部だけで完結せず、外部機関につながっていく行政手続きにおけるデジタルトランスフォーメーションの推進による利便性の向上について、どのように考えているか。				

自由民主党（50分）

発言 順位	3	議席 番号	36	議員名	佐藤伸一郎 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.7) (P.11)	<p>(1) ここでの成長がカタチになるまちをつくる取り組みについて</p> <p>① (仮称) 子どもにやさしいまち条例について、「町田市子ども憲章」が制定されている中で、新しく「(仮称) 子どもにやさしいまち条例」を制定する背景と目的は。</p> <p>(2) わたしの“ココチよさ”がかなうまちをつくる取り組みについて</p> <p>① 里山の活用について、市長の思い描く「新しい里山」とはどのような里山環境をイメージしているのか。また、その取り組みを推進するための財源として、森林環境譲与税・森林環境税を活用してはどうか。</p> <p>② 鶴川駅周辺のまちづくりについて、「鶴川駅」周辺一帯としては、どのような駅前空間をイメージしているのか。改札口の移動と、東西の導線の確保はどのようにしていくのか。</p> <p>③ 相原駅周辺のまちづくりについて、新たなアクセス道路の整備により、どのような効果がもたらされるのか。「駅の賑わいや拠点性を向上させるため、東口駅前街区の再編も行う」とはどのような考えのもと進めていくのか。</p>				

発言 順位	3	議席 番号	36	議員名	佐藤伸一郎 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.13)	<p>(3) 誰もがホッとできるまちをつくる取り組みについて</p> <p>①新たな相談支援体制について、地域福祉コーディネーターにどのような機能を持たせ、町田市ではどのように育成していく予定か。</p> <p>②スポーツについて、市内でのスポーツに親しめる環境の整備を、どのような考えのもとに進めているのか。旧忠生第六小学校の健康増進関連拠点の整備スケジュールは。</p> <p>③環境先進都市について、環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」への市長の想いや2050年の温室効果ガスの排出実質ゼロに向けた市の展望はどうか。</p> <p>④防災意識について、自助・共助をどのように高めていくのか。</p>				
(P.17)	<p>(4) みんなの“なりたい”がかなうまちをつくる取り組みについて</p> <p>①デジタル化について、2022年度における国のデジタルトランスフォーメーションの動向と、それを踏まえた町田市のデジタル化の取り組みは。</p> <p>②中核市ベンチマーキングについて、中核市ベンチマーキングの実施背景・目的は。</p> <p>③企業版ふるさと納税について、企業版ふるさと納税制度に「まちだ未来づくりビジョン2040」のすべての事業を、寄附対象として位置づけた狙いとその効果は。</p>				

選ばれる町田をつくる会（50分）

発言 順位	4	議席 番号	7	議員名	木目田英男 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 7)	(1) 子どもの居場所づくりについて 子どもの居場所づくりについて、今後どのように展開していくのか。				
(P. 8)	(2) 保育の質の向上について 町田市における保育の「質」においては、課題をどのように捉え、今後どのように向上させていくのか。				
(P. 9)	(3) まちだの新たな学校づくりについて 「新たな学校づくり」に向けた市長の考え方は。				
(P. 10)	(4) 中学校給食センターの整備について 「町田市で初めてとなるPFI手法」において、事業者を求める能力は。また、事業者選定の実施方法とスケジュールは。				
(P. 11)	(5) 町田駅周辺について 町田駅周辺のまちづくりをどのような考えのもと、どのように進めていくのか。				
(P. 11)	(6) 多摩都市モノレール沿線地域のまちづくりについて モノレールは、バス交通やLRT、BRTなどの軌道交通とはどのような違いがあるのか、市長の認識は。モノレール沿線のまちづくりをどのような考えのもと進めていくのか。また、木曽山崎団地地区と忠生北部丘陵地区で目指すまちの姿は。				
(P. 14)	(7) パートナーシップ制度について 町田市におけるパートナーシップ制度の導入検討に向けた動きは。				

発言 順位	4	議席 番号	7	議員名	木目田英男 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 14)	(8) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムについて “芸術の杜”として公園全体をどのような空間にしてい きたいのか。				
(P. 15)	(9) 忠生スポーツ公園の整備について 様々な世代が目的に応じた使い方ができる空間への 整備とは、どのような使い方ができるのか。				
(P. 17)	(10) 共創による地域社会づくりについて 「人と人が寄り合える機会」の創出に至った経緯と、 具体的な内容や今後の進め方等について、市長の考え は。				
(P. 18)	(11) デジタル化について 今後進めていく町田市のデジタルトランスフォーメー ションの方向性は。				
(P. 19)	(12) 公共施設の再編について 今後見込んでいる公共施設再編は何を目指している のか。目指す姿に向けてどのように取り組んでいくの か。				

日本共産党（45分）

発言 順位	5	議席 番号	33	議員名	細野龍子 (代表質疑)
議案番号	要 旨				
施政方針 (P.4)	(1) 線状降水帯発生など異常気象による風水害についての認識と、公助の役割を問う。				
(P.9)	(2) 「(仮称) 子どもにやさしいまち条例」策定の目的、内容について問う。また、子どもの参画について見解を問う。				
(P.9)	(3) “まちだの新たな学校づくり”において、学校を3分の1減らすことによる、子どもへの負担についてどのように認識しているのか。また、子どもにやさしいまちづくりといえるのかを問う。				
(P.10)	(4) 中学校給食センター整備に導入されるPFI手法が対象とする事業内容とその導入目的は何か。また、直営との違いは何か。				
(P.11)	(5) 多摩都市モノレールの町田方面延伸事業において、ルートの特長等により予測される総事業費を問う。また、採算性確保に必要な町田市の取り組みについて問う。				
(P.13)	(6) 地域福祉コーディネーターの役割、身分について問う。				
(P.14)	(7) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”の一体的整備については、説明会で地域住民や幅広い市民から見直しを求める声が多かった。再検討してはどうか。				
(P.18)	(8) 町田市デジタル化総合戦略によって「人手のかかるサービスデザイン」から「デジタルベースのサービスデザイン」への変革とは、具体的にはどのようなことか。また、市の職員定数管理計画について問う。				
(P.20)	(9) 教育センターと子ども発達センターを中心とした、子ども関連の施設を一つにする複合化について、基本計画に盛り込まれる民間との連携の内容について問う。				

無所属（40分）

発言 順位	6	議席 番号	16	議員名	松岡みゆき (代表質疑)
議案番号	要 旨				
施政方針 (P. 4)	(1) 公助は当然ながら、災害への備えや減災の点から、自助や共助の役割の大切さを感じているとあるが、具体的な対策は。				
(P. 10)	(2) 通学の負担軽減や安全対策を盛り込んだ「統合新設校 新たな学校づくり基本計画」を策定するとあるが、どのような施策を考えているのか。				
(P. 10)	(3) 中学校給食センターの計画は、今後どの様に進めて行くのか。				
(P. 11)	(4) 1月に示された多摩都市モノレール延伸ルートにより、実現までさらに時間を要するが、忠生をはじめとした「まちづくり」は急務だが今後の取り組みは。				
(P. 11)	(5) 駅周辺に分散しているバス乗車場を集約し、新たな交通ターミナルを整備するとあるが、具体的な計画と取り組みは。				
(P. 15)	(6) バイオエネルギーセンターが稼働してすぐに、不燃ごみピットで火災が発生したが、正しいごみの分別の徹底の周知方法と、ごみ処理施設とバイオガス化施設が併設した、東日本で唯一の施設を近隣に発信し周知すべきと考えるが。				
(P. 15)	(7) 健康増進温浴施設がオープンし、地域の皆様のホッとできる居場所を提供しているとあるが、利用料についてどのように考えているか。				

発言 順位	7	議席 番号	27	議員名	新井よしなお (個人質疑)
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第45号	歳出	1. 都市計画道路 築造事業 (概要 P. 27、 P. 29)	<p>(1) 課題として、恩田川の線形と都市計画道路の線形が部分的に重なる部分が一部出てくるということであったが、どのように解決したか。</p> <p>(2) アンダーパスにかかわる排水の問題への対処は。</p> <p>(3) 小田急電鉄との協議内容は。</p> <p>(4) 3・4・9号線の高低差はどのように解消するか。</p> <p>(5) 事業化に向けての地元説明はどのような形で行われるか。</p>		

諸派（5分）

発言 順位	8	議席 番号	3 2	議員名	熊沢あやり (個人質疑)
議案番号	要 旨				
第45号	(1) 令和4年度6月補正予算の重点は。				